

令和8年度 町田市立鶴川中学校

年間指導計画及び観点別評価規準

第2学年

教科： 数 学

教科書： 東京書籍

週時数： 3

担当者： 高木・宇田・大岡

| 学期 | 月 | 単元・章 | 時数 | 観点別評価規準 | | |
|---|----|-------------------------------------|----|---|--|---|
| | | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 1 | 4 | 1章文字式を使って説明しよう 1節式の計算 | 8 | 簡単な整式の計算をすることができる。【ICT】 | 簡単な整式の計算の方法を考察し表現することができる。【ICT】 | 簡単な整式の計算について、既習事項と関連付けて考えようとしている。【ICT】 |
| | | 2節文字式の利用 | 7 | 文字を使った式で数量及び数量の関係をとらえ説明できることを理解している。【ICT】 | 文字を使った式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。【ICT】 | 文字を使った式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。【ICT】 |
| | 5 | 2章方程式を利用して問題を解決しよう 1節連立方程式とその解き方 | 8 | 連立2元1次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。【ICT】 | 1元1次方程式と関連付けて、連立2元1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。【ICT】 | 連立2元1次方程式の必要性和意味を考えようとしている。【ICT】 |
| | | 2節連立方程式の利用 | 5 | 簡単な連立2元1次方程式を解くことができる。【ICT】 | 連立2元1次方程式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。【ICT】 | 連立2元1次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。【ICT】 |
| | 6 | 3章関数を利用して問題を解決しよう 1節1次関数 | 2 | 1次関数の意味を理解し、式で表すことができる。【ICT】 | 1次関数の値の変化に着目し、一定の割合で変化していることを見出すことができる。【ICT】 | 1次関数の必要性和意味を考えようとしている。【ICT】 |
| | | 2節1次関数の性質と調べ方 | 8 | 1次関数の変化の割合やグラフの切片と傾きの意味を理解している。【ICT】 | 1次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見出し、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。【ICT】 | 1次関数の値の変化の特徴を捉えようとしている。【ICT】 |
| | 7 | 3節2元1次方程式と1次関数 | 4 | 2元1次方程式のグラフは、その解の集合となっており、1次関数のグラフの形になることを理解している。【ICT】 | 連立方程式の解の意味を2元1次方程式の解を用いて捉え、説明することができる。【ICT】 | 2元1次方程式や連立方程式の解の意味を、グラフを用いて捉えようとしている。【ICT】 |
| 2 | 9 | 4節1次関数の利用 | 5 | 1次関数の関係を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。【ICT】 | 1次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。【ICT】 | 1次関数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。【ICT】 |
| | | 4章図形の性質の調べ方を考えよう 1節説明のしくみ | 3 | 多角形の角についての性質を見だせることを知っている。【ICT】 | n角形の内角及び外角の和の求め方を、もとにしていることがらを明らかにして説明できる。【ICT】 | 多角形の角についての性質のもとにしていることがらを考えようとしている。【ICT】 |
| | 10 | 2節平行線と角 | 5 | 平行線や角の性質を理解している。【ICT】 | 対頂角が等しいことや、平行線の性質を、論理的に筋道立てて説明することができる。【ICT】 | 証明の必要性和意味を考えようとしている。【ICT】 |
| | | 3節合同な図形 | 7 | 証明の必要性和意味及びその方法について理解している。【ICT】 | 基本的な平面図形の性質を見出し、平行線や角の性質を用いて説明することができる。【ICT】 | 平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。【ICT】 |
| | 11 | 5章図形の精と見つけて説明しよう 1節三角形 | 8 | 証明の必要性和意味及びその方法について理解している。【ICT】 | 三角形の合同条件をもとに、三角形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。【ICT】 | 平面図形の性質や図形の合同について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。【ICT】 |
| | | 2節平行四辺形 | 13 | 平行四辺形の性質やなるための条件を理解している。【ICT】 | 平行四辺形の性質やなるための条件を利用して、平面図形の性質を見出し、証明することができる。【ICT】 | 平面図形の性質や図形の合同について学んだことを学習に生かそうとしている。【ICT】 |
| 3 | 1 | 6章起りやすさをとらえて説明しよう 1節確率 | 6 | 多数回の試行によって得られる確率と関連付けて場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を理解している。 | 同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして比較される確率の求め方を考察し、表現することができる。 | 場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を考えようとしている。 |
| | | 2節確率による説明 | 3 | 簡単な場合について確率を求めることができる。【ICT】 | 確率を用いて不確定な事象を捉え、考察し表現することができる。【ICT】 | 不確定な事象の起りやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしている。【ICT】 |
| | 2 | 7章データを比較して判断しよう 1節四分位範囲と箱ひげ図 | 5 | 四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解している。【ICT】 | 四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。【ICT】 | データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。【ICT】 |
| | | 予備の時間 | 8 | | | |
| 評定 $[300\%(3 \text{ 観点の合計}) \div 3 = 100\%]$ | | | | 知 (100%) | 思 (100%) | 主 (100%) |
| 評価方法 | | | | 定期考査 (60%程度) 授業内・モジュールの活動 (40%程度) ・小テスト ・提出物 | 定期考査 (60%程度) 授業内・モジュールの活動 (40%程度) ・小テスト ・提出物 | 授業内・モジュールの活動 (100%) ・小テスト ・ワーク、ノート ・定期考査振り返りプリント ・Qubena |